様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第１・2・3学年	地図・723	新編　新しい社会　地図
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　世界全図について 　中心からの距離や方位が正しい地図と面積が正しい地図を比べたり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　世界州別地図について 　世界の州の境を読み取ったり、アフリカ州の第二次世界大戦前の独立国や南北アメリカ州各国の主な言語について調べたりする活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。 ○　世界主要地域詳細図について 　中国の経済特区や西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたり、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界の資料図について 　国際協力機構による環境保全の取組について考えたり、世界の生活・文化を調べたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本全図について 　我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本地域別詳細図について 　高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本の資料図について 　地理的条件と産業の分布を関連付けて読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、複数の資料図を結び付けてヨーロッパの自然環境や産業の特色を読み取ったり、ＥＵ加盟国が増えた影響をヨーロッパの自動車工場の分布などの資料図と関連付けて考察したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や農業等に関する資料図や民族や文化に関わる資料を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるよう構成したり、日本の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や産業の様子などを示した資料図を、考察する視点に応じて選択できるよう構成したりするなど、系統的、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「世界の諸地域」は 57 ページ、「日本の諸地域」は 63 ページ、「統計・資料等」は 60 ページであり、総ページは 184 ページで、前回より約 21%増となっている。			
使用上の配慮等	○　自分の住む市町村の様子を詳しく調べることができるよう、北海道の南部及び北部の地域別詳細図や札幌市中心部の資料図を掲載したり、北海道についての興味・関心を高めることができるよう、北海道の地形と自然災害やアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　関連する資料を活用して調べる方法を「ジャンプ」のマークで示したり、資料図の読図のポイントや考察の視点を「キャラクター」による吹き出しで示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　巻末に日本と世界の資料図や 196 か国及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載するとともに、歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史の舞台や国際機関への参加国を地図上に示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある内容は、道内の市町村等の図が 48 点、アイヌの人たちの歴史や文化等の図が 5 点取り上げられており、上川に関する内容は、日本の気象記録として旭川が取り上げられている。 ○　色覚特性がある生徒など、様々な生徒が無理なく安心して学習できるよう主題図やグラフにおいて、カラーバリアフリーに配慮されている。 ○　写真資料には見開きごとのまとまりで通し番号が付けられ、授業で指示しやすいよう配慮されている。			